

# あさひば だより 6月号

秋津 桜木 桜木東 若葉

地域情報版

熊本市配布文書 6号  
 令和8年(2026年)5月15日発行  
 発行者: 秋津まちづくりセンター・公民館  
 熊本市東区秋津3丁目15-1 電話368-2200  
 akitsumachizukuricenter@city.kumamoto.lg.jp



熊本市ホームページ

あさひばだよりは熊本市HPにも掲載しています



## いきいきサロンで大道芸 (若葉校区)



若葉校区の高齢者サロン「若葉ふれあい・いきいきサロン」では、毎月趣向を凝らした企画が行われています。

4月のサロンでは、「大道芸を楽しもう」と題し、楽しいひとときが繰り広げられました。大道芸を披露してくださったのは、中央区にある大江公民館の生涯学習自主講座で活動されている「大道芸愛好会」の皆さんです。「バナナのたたき売り」や「ガマの油売り」などの懐かしい大道芸のほか、マジックショーも披露され、会場は笑い拍手に包まれました。



プロ並みの口上に、会場は大盛り上がり



ガマの油売り

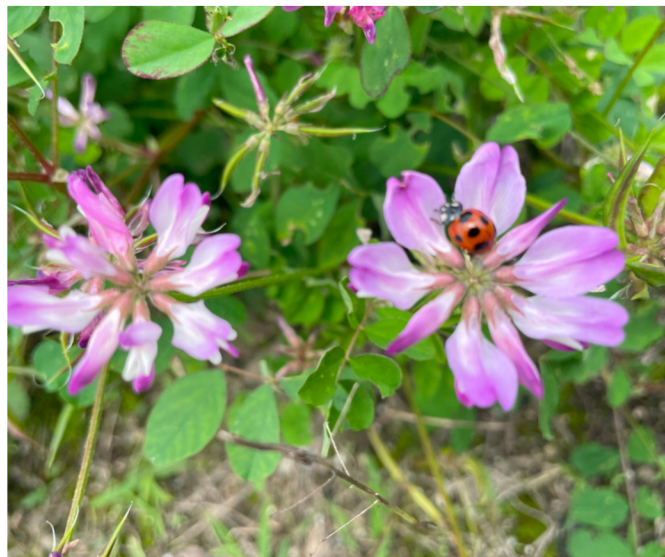
参加された皆さんは、演目を楽しみながら自然に交流を深めておられ、「大道芸があると聞いて、今回初めて参加しました」という声も聞かれました。終始、笑顔あふれる和やかな時間となりました。

「若葉ふれあい・いきいきサロン」は、毎月第4火曜日の午前10時から、若葉地域コミュニティセンターで開催されています。

### レンゲ草で景観づくり

秋津飯野  
土地改良区

秋津飯野土地改良区では、地域資源の保全管理と環境の保全を図ることを目的に、農業の多面的機能の維持・発展のための地域活動や営農活動を推進しています。広大な農地の一角にレンゲ草を植えているのも、景観保全の一環です。熊本地震以前には、「レンゲ祭り」というお祭りも開催されていました。花が満開になるのは、4月下旬ごろ。今年の見頃は終わりましたが、来年の春、散歩しながらレンゲの花を探してみませんか？





車中泊シンポジウム

秋津校区防災連絡会（高崎憲一会長）が、熊本地震10年の節目に大規模な防災訓練を実施しました。実行委員会を立ち上げ、昨年の11月から準備を重ねてきました。参集・受付訓練、熊本地震の振り返り（記録DVD視聴）、車中泊シンポジウム、炊き出し訓練、防災体験ブースなど、内容は盛り沢山。秋津小学校の児童引き渡し訓練も同時に開催し、秋津小の5年生がまとめた防災学習の発表もありました。防災訓練の大きな目的である

「熊本地震の記憶を次世代につなぐ」こともできたのではないかと思います。



大人気だった炊き出し

## 災害

は、誰にでも降りかかります。自分に関係ないということはありません。特に地震は突然やってきます。日頃から、個人で防災について考え、いざという時は、協力し、乗り越えていくことが重要です。



秋津校区防災連絡会  
高崎 憲一 会長



多くの住民の方が参加されました



救急法体験

# 10年 熊本地震

熊本地震の記憶を未来へ紡ぐ

## 寝る場所は家、車、テント？ 子どもが選んでおうちごっこ

熊本市 40代 男性  
(当時、小学生の子の保護者)

前震のとき、とりあえず自宅前の公園へ出ました。親の不安が移ったのか子どもたちは興奮状態で、夜10時なのに非常にテンションが高かった。

そこで、ブルーシートとテント、キャンプ道具等、あのあたりに片付けていたよなと思い出しながら引っ張り出して、テントを張ったのです。おうちごっこをして気持ちが収まればいいし、そこで寝られればいいやと。

本震のあと、子どもたちが家で寝ることをますます怖がったので、寝る場所は下の子が決めることにしました。

そろそろ家に戻ってもいいと思ったら家に戻る、テントがよければテント、車の中がよければ車の中、と三タイプ選べるようにしました。

なるべく一週間、子どもと楽しむようにしました。キャンプ道具があって比較的困らない状況だったこともあり、子どもの前で悲壮感を出さずに、前向きに乗り切りました。



熊本地震の記録を未来に紡ぐエピソード集より抜粋  
エピソード集は、熊本市東区の秋津校区にお住まいの方やお勤めの方にご協力いただき、令和3年に秋津まちづくりセンターが作成したものです。

